



報道関係各位

2008年11月7日  
ジェットスター航空

## ジェットスター航空、 「CAPA ローコストキャリア・オブ・ザ・イヤー」 連続受賞

ジェットスター航空は、CAPA（アジア太平洋航空センター）が選出する、アジア太平洋地域の「CAPA ローコストキャリア・オブ・ザ・イヤー」を2年連続で受賞しました。

この栄誉ある航空賞を受賞するのは、2004年5月の運航開始以来3度目となりますが、その間当社は短距離および長距離路線の低価格での運航を大幅に拡大してきました。

ジェットスター航空のCEO（最高経営責任者）であるブルース・ブキャナン（Bruce Buchanan）は、シンガポールで行われたCAPAのGala Awards Dinner（授賞式と晩餐会）に出席し、アジア太平洋地域の航空業界における主だったリーダーの動向について「アジアの航空業界の展望」と題する講演を行いました。

ブキャナンは、CAPAからの受賞は、ジェットスター航空のブランドとプロダクトに対する絶え間ない変革への熱意と努力が評価されたものだととして以下のように述べました。

「この1年間、当社は低運賃でより多くの路線とサービスをお客様に提供し、同時に日本やベトナムという活気のある市場に向けても、ジェットスターという低価格ブランドの導入を図ってまいりました。ジェットセイバー・ライトやセルフサービス・キオスク（オーストラリア国内の空港に設置された自動チェックイン機）などの革新的な商品開発のための投資を行い、お客様により良いサービスを提供するとともに、低価格の実現という重要な命題に一貫して取り組んでまいりました。低価格の実現は、当社のサービスの根幹をなすものであり、地域におけるブランド・ポジショニングの中心に位置付けられるものです。

この度の受賞は、マネージメント部門とサービス部門の両面における当社の優秀性が反映されたものです。ジェットスター航空をアジア全域を網羅する航空会社へ、また、カンタスグループの2ブランド戦略における重要なパートナーへと成長させる戦略と実践を担当するチームによる貢献が評価されています。またこの受賞は、空港や機内で表に立つスタッフのプロ意識の高さがもたらす、質の高いサービスと価格優位性とのバランスが反映されたものでもあります。

今後は、ジェットスター航空を名実ともにアジア全域ブランドとしてさらに発展させていきたいと考えています。そのために、今後数年間にわたり、ジェットスターグループが保有するA320シリーズを65機以上増やし、次世代機であるボーイング787ドリームライナーを15機導入する予定です。この賞を再び受賞できたことは大変光栄であり、今後とも全社を挙げて継続的な改善と技術革新、そしてブランドの育成に努めてまいります。」

CAPA会長であるピーター・ハービソン（Peter Harbison）氏は次のように述べています。

「ジェットスター航空は、この1年間を通して、カンタスグループ内における同社の重要性をはっきりと示しました。カンタスグループの史上最高益達成に多大な貢献をしたことに加え、同社CEOのアラン・ジョイス氏がカンタスグループの新しいCEOに就任することになりました。ボーイング787の納入の遅れという状況の中、短距離国内線および国際線の拡大（ベトナムへの新規参入事業を含む）



に重点を置くという、世界トップのローコストキャリアの名にふさわしい柔軟性と機動力を発揮しました。」

**2008年の主な実績：**

- ・ ジェットスター航空の2008年6月30日を末日とする2008会計年度における税引前利益（PBT）は、史上最高の1億1,800万豪ドルに達し、2007会計年度に比べて44%の増加となりました。
- ・ 当会計年度の記録的な収益をもたらしたのは、旅客収益の増加（32%）、国際線の継続的な増強による輸送量の拡大（44%）、そして9.3%の低下を示したCASK（提供座席のキロメートル当たりコスト）をはじめとするオーストラリア市場最高のコスト基盤です。
- ・ 2008年5月、ベトナム初のローコストキャリアとなるジェットスター・パシフィックを設立しました。
- ・ オーストラリアとアジア近隣諸国を結ぶ国際便・国内便のハブ空港となる、ダーウィンへの就航を発表しました。
- ・ より低価格な選択肢を提供する受託手荷物なしのジェットセイバー・ライト、ウェブ・チェックイン、また、主要な空港に設置されたセルフサービス・キオスクなどを含む新たな製品強化を成功裏に導入しました。
- ・ Jetstar.comの継続的な改善を行い、ワンストップで旅の情報が得られるウェブサイトへと進化させたことにより、同サイトは着実にアクセス数を増やし、地域で最も人気の高い旅行サイトの一つとなりました。
- ・ パースから東南アジアを結ぶ初の国際線を開設しました。今後は、2009年4月に就航予定のオークランド\*便をはじめとするニュージーランド路線を拡大の予定です。

\*政府認可申請中

**【報道関係お問い合わせ先】**

広報窓口：オグルヴィ・パブリック・リレーションズ・ワールドワイド・ジャパン株式会社

担当：藤原／佐野

Tel: 03-5793-2341、2377 Fax: 03-5793-2381

e-mail: akiko.fujiwara@ogilvy.com, masako.sano@ogilvy.com